## 問10 県の取組でよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

問10 あなたが、県の取組についてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。 また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。(それぞれ5つまで)

## 【県の取組でよくやっていると思う分野】

全体(図 10-1)でみると、「防災対策」が 25.0%と最も高く、次いで「観光振興」(14.9%)、「道路整備・維持管理」(14.8%)の順となっている。

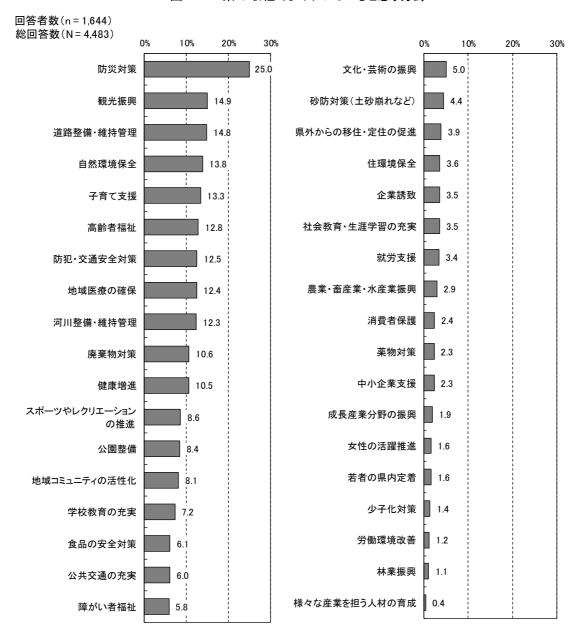
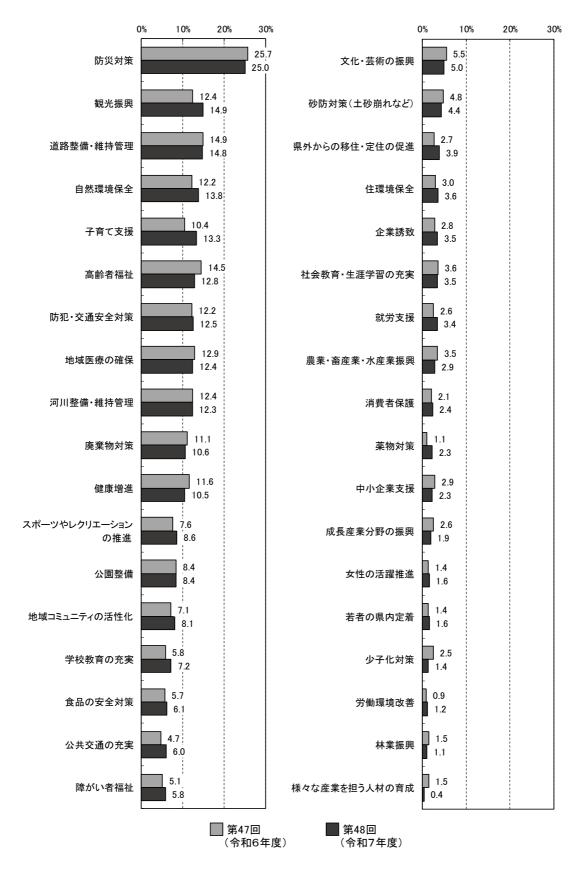


図 10-1 県の取組でよくやっていると思う分野

- ※ 成長産業:岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。(令和7年度現在)
- ※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。 ・住環境保全:騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

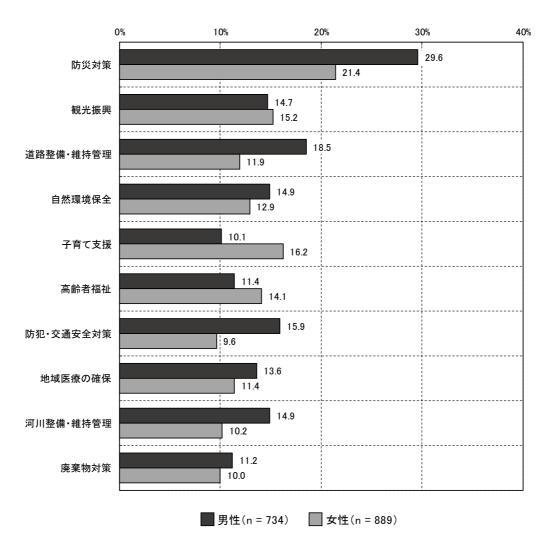
前回比較(図 10-2)でみると、前回に続き「防災対策」が最も高くなっている。前回第 5位の「観光振興」は第 2位となっている。

図 10-2 【前回比較】県の取組でよくやっていると思う分野



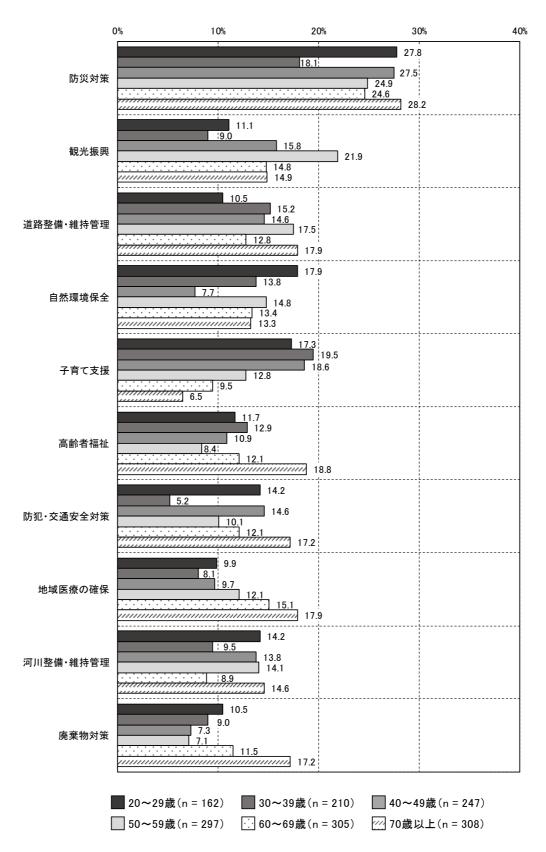
性別(図 10-3)でみると、男女ともに「防災対策」が最も高く、次いで、男性では「道路整備・維持管理」が 18.5%、女性では「子育て支援」が 16.2%となっている。

図 10-3 【性別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



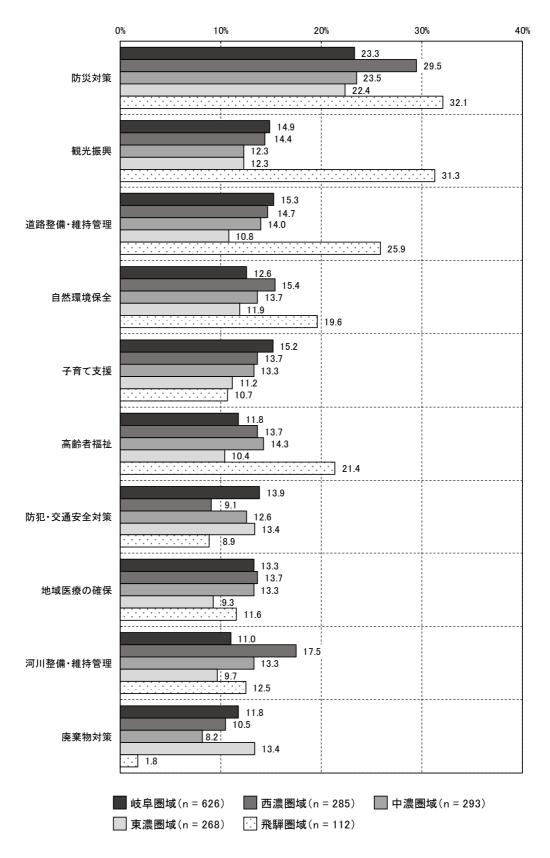
年代別(図 10-4)でみると、30歳代を除くいずれの年代においても「防災対策」が最も高く、30歳代では「子育て支援」が最も高くなっている。

図 10-4 【年代別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



居住圏域別(図 10-5)でみると、いずれの居住圏域においても「防災対策」が最も高く、 そのうち飛騨圏域が 32.1%と最も高くなっている。また、飛騨圏域では「観光振興」「道路 整備・維持管理」が、他の居住圏域に比べて高くなっている。

図 10-5 【居住圏域別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



職業別(図 10-6)でみると、いずれの職業においても「防災対策」が最も高くなっている。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)

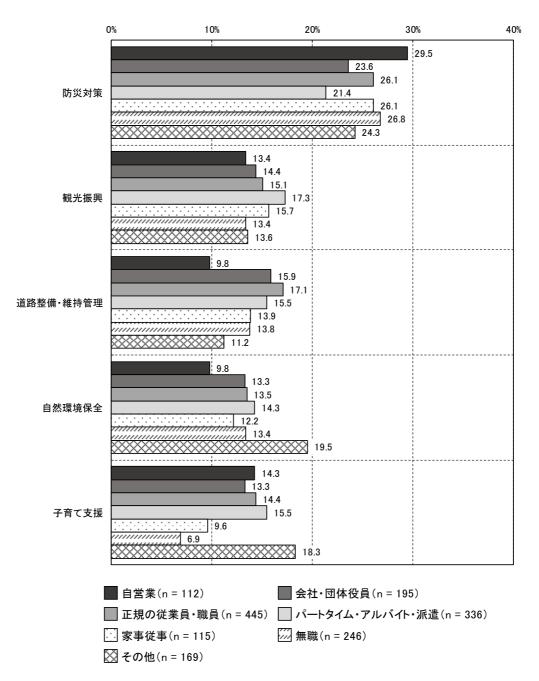
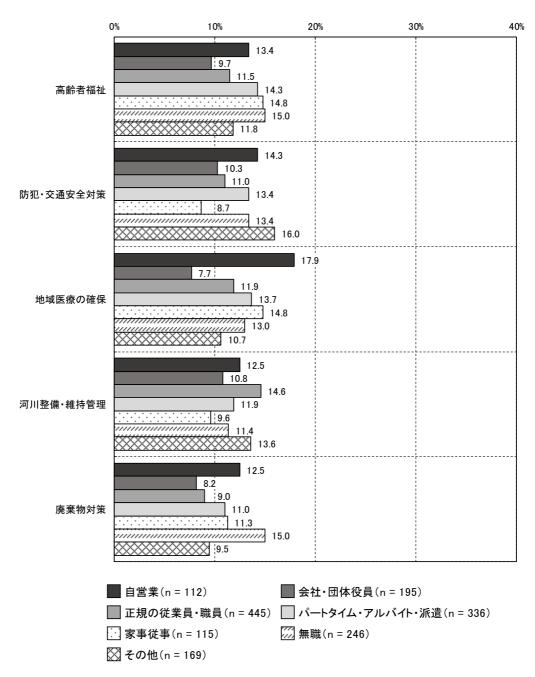


図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)



## 【県の取組で努力が足りないと思う分野】

学校教育の充実

7.5

全体(図 10-2-1)でみると、「若者の県内定着」が 22.7%と最も高く、次いで「少子化対策」(21.7%)、「公共交通の充実」(17.9%)の順となっている。

回答者数(n=1,644) 総回答数(N=5,259) 10% 20% 30% 10% 20% 30% 若者の県内定着 22.7 廃棄物対策 7.4 少子化対策 住環境保全 21.7 7.2 公共交通の充実 17.9 様々な産業を担う人材の育成 6.5 子育て支援 14.4 公園整備 6 4 地域コミュニティの活性化 高齢者福祉 12.8 6.1 防災対策 12.3 障がい者福祉 県外からの移住・定住の促進 12.0 自然環境保全 5.8 道路整備・維持管理 11.7 農業・畜産業・水産業振興 5.8 地域医療の確保 10.9 河川整備・維持管理 4.5 企業誘致 成長産業分野の振興 10.9 4.1 消費者保護 10.5 文化・芸術の振興 3.7 観光振興 10.3 健康増進 3.6 スポーツやレクリエーション 中小企業支援 9.8 3.2 の推進 労働環境改善 食品の安全対策 3.0 砂防対策(土砂崩れなど) 防犯•交通安全対策 8.2 2.6 女性の活躍推進 8.2 林業振興 2.3 就労支援 社会教育・生涯学習の充実

図 10-2-1 県の取組で努力が足りないと思う分野

薬物対策

1.8

前回比較(図 10-2-2)でみると、前回に続き「若者の県内定着」が最も高く、次いで「少子化対策」の順となっている。

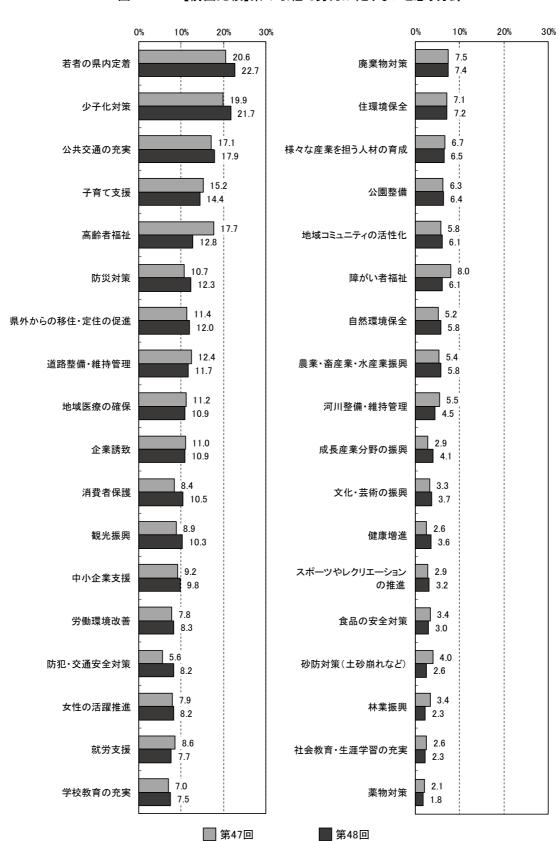


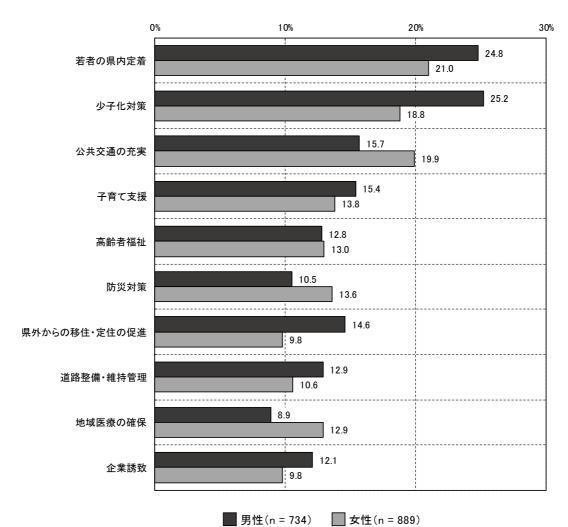
図 10-2-2 【前回比較】県の取組で努力が足りないと思う分野

(令和7年度)

(令和6年度)

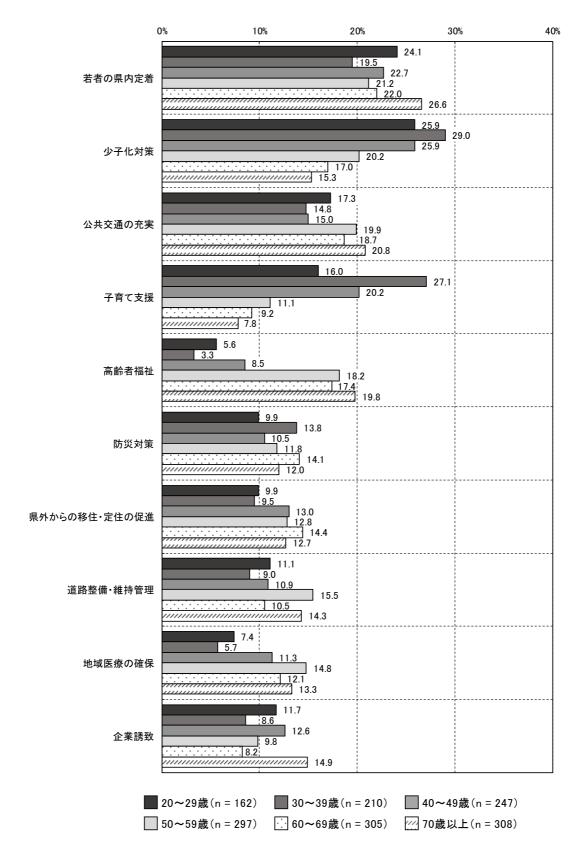
性別(図 10-2-3)でみると、男性では「少子化対策」(25.2%)が最も高く、女性では「若 者の県内定着」(21.0%)が最も高くなっている。

図 10-2-3 【性別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



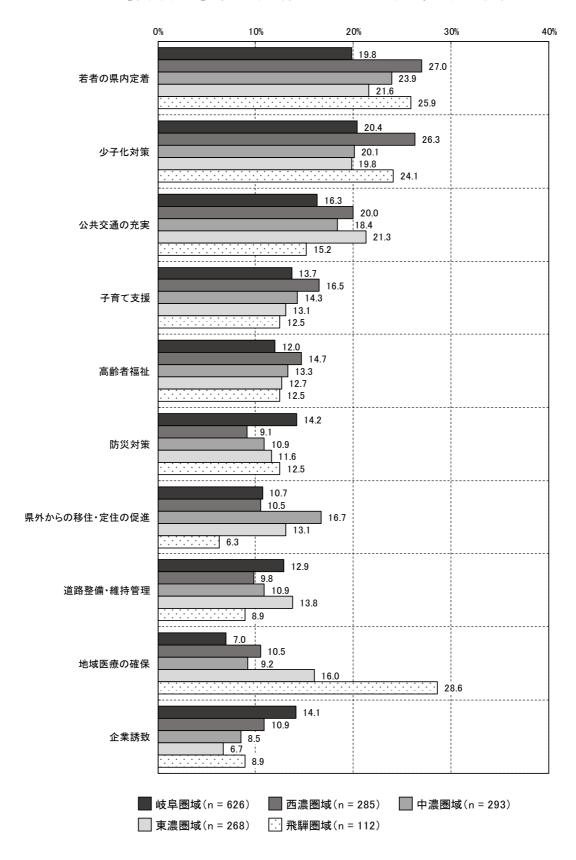
年代別(図 10-2-4)でみると、20歳代、30歳代、40歳代では「少子化対策」、50歳代、60歳代、70歳以上では「若者の県内定着」が最も高くなっている。

図 10-2-4 【年代別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



居住圏域別(図 10-2-5)でみると、西濃圏域、中濃圏域、東濃圏域では「若者の県内定着」が最も高く、岐阜圏域では「少子化対策」、飛騨圏域では「地域医療の確保」が最も高くなっている。

図 10-2-5 【居住圏域別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



職業別(図 10-2-6)でみると、自営業、家事従事、無職では「若者の県内定着」、会社・団体役員、正規の従業員・職員、その他では「少子化対策」、パートタイム・アルバイト・派遣では「公共交通の充実」が最も高くなっている。

図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)

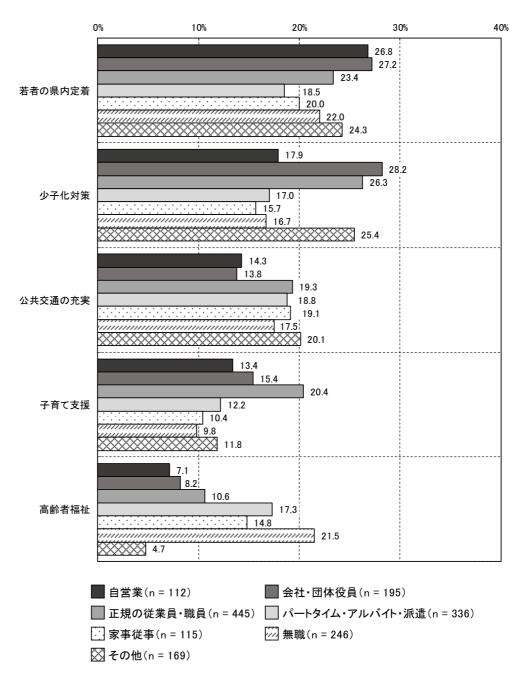


図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)

